

今年度の町長の施政方針と予算編成について特集します。
なお、町長の施政方針は、3月議会のものを一部修正したものです。

とした活力ある町づくり 福祉のある町づくり

明るく生き生き きめ細やかな



施政方針

顧みまして、平成6年度も諸事多難な年でありました。一昨年の低温・冷夏の天災に引き続き、昨年は逆に少雨・炎天続きの異常気象に苦しめられました。更には、本年早くに生じた阪神大震災による大被害等、地球、もしくは我が国土の自然構造に何らかの異変が生じているのではないかと察せられるほどであります。報道により刻々と伝えられる阪神大震災の惨状には、目を覆わんばかりであり、被災者のお気持ちに余りあるものがあります。ここに謹んで衷心よりお悔やみとお見舞を申し上げ、併せて一刻も早い復興を祈念申し上げる次第であります。

予算の編成について

平成7年度の一般会計予算における予算規模は37億9、200万円と前年度に比して縮小されましたが、この要因についてはデイサービスセンター・温泉健康センターの完成によること

ろが主であります。
なお、当町では小須戸町民の気持ちとして、金30万円の見舞金を日本赤十字社を通じて贈呈いたしましたことを申し添える次第であります。

一方、当町における自然災害を想定いたしますとき、予知出来ぬ地震発生を避け、山崩れや水害であります。これらにつきましては先人各位のご努力により、治山・治水の諸事業が整備されてまいりまして、今や大災害の懸念も少なくなり、平安で環境に恵まれた、住み良い郷土となりました。この恵まれた郷土に感謝しつつ、さらにこの郷土を発展させながら、子々孫

々の繁栄につなげていかなければならないと、心を新たにしているところであります。

私は、去る2月5日の町長選挙におきまして、町民多数の皆様のおかげで支援・支持をいただき、再度町政を担当させていただく事になりましたが、引き続き「明るく生き生きとした活力ある町づくり、きめ細やかな福祉のある町づくり」を基本として、21世紀に向けた発展的な行政を進めてまいり所存でありますので、議員各位並びに町民皆様より一層のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

あります。

財源の内訳としては自主財源比率前年度比0・89%減、普通交付税は13億8、000万円、そして特別交付税は前年と同額と想定して予算組みをした次第

であります。

なお、事業については継続的な国・県関連事業は積極的に進め

主たる事業について

さて国・県に関する事業といましては、再三経過的に報告申し上げてまいりましたが、農村総合整備モデル事業は今年度中に完了しますし、国道403号バイパス建設促進につきましましては、関係各方面との連携を密にして早期開通を目指してまいります。

また国の地域総合整備事業、すなわち第2次ふるさとづくり事業による、こすど温泉健康センターにつきましては、この4月オープンを予定しておりますが、この施設により小須戸町民のふれあい・安らぎ、そして健康づくりに役立たせるとともに、当町のPR（宣伝）施設として、地域活性化のために活用していく所存であります。
なお、ここに議員各位にご理解とお願いを申し上げます次第であります。昨年の9月議会において、当施設の運営について特

てまいりますし、また町単独事業については、その重要性・必要性を勘案して順位を定めて予

別会計による運営をするべし、との発議・ご決議をいただいた次第でありますので、そのご決議を尊重しながら検討・協議を重ねてまいりましたが、この事業の性質上、国・県の指導どおり一般会計において運営することになりましたので、ご異論もありません。特段のご理解とご了承を賜りますよう、お願い申し上げます。
次に、県の砂防事業として行っております砂防川の「せせらぎと散策の森」事業につきましては、引き続き計画どおりに進めるとともに当町の「ふるさと創生事業」としての森林公園も同歩調の中で平成8年度完成を目指して進めてまいります。
また懸案でありましたデイサービスセンターも完成を間近かに控え4月上旬より業務を開始いたしますが、これにより在宅看護の福祉事業がさらに充実さ

算の編成を行いました。

れるものと信ずるところであります。そして、この施設を核とした福祉ゾーンの整備を積極的に進めてまいりたいと思っております。

次に公共下水道事業につきましましては、計画どおり市街化区域内を平成8年度の完了を目標としてその実現に向かって努力してまいります。市街化調整区域についても、今年度（平成7年度）からは特定環境保全公共下水道事業として工事をしてまいります。これらの事業の進捗・完了により当町は均衡のとれた快適な住環境が創生されるものと大きな期待が持たれるところであります。
次に当町南北縦断道路として着手してまいりました町道小須戸17号線道路につきましても、広域付帯農道から北側に向かって「花とみどりのシンボルゾーン」脇を通る路線はこの4月か